

多宝会新聞

発行所
 社会福祉法人多宝会
 本部事務局広報室
 福島市本町4-23
 024-522-6611 mail
 honbu@
 tahokai.jp

この世の全てを一変させたといつても過言ではない「新型コロナウイルス(COVID-19)」であるが、我々が担う医療・福祉の世界においては「生命が脅かされる最前線」での戦いを余儀なくされ、その緊張と労苦は筆舌に尽くせぬものがある。しかし、そんな過酷な環境の中にあっても「ただ、あなたの命と生活を守るために」と陰の戦いに徹しながら奮闘を続ける現場の職員たちがいる。ここでは、コロナ時代の「宝」ともいえるべき現場のスタッフに感謝をしつつフォーカスしてみた。

ただ、ご利用者を守るために。

土湯宝生園
 通所介護課 主任
 佐々木ひろ子

福島市内でも、新型コロナウイルスに感染される方が出始めた時、このままデイサービスの運営を続けても良いのかどうかと不安もよぎりました。実際に「新型コロナウイルス」が心配だからしばらく休みます」との連絡もいただいています。しかし、デイサービスを楽しみにしているご利用者も多数おり、必要な方には必要サービスを提供することが私たちの使命であるとの思いで、安全に

第一線で「見えざる敵」と戦い続ける職員の声を紹介

安心してご利用いただけるよう、出来る限りの対策をとってスタッフ一丸となり



高年齢者の生活を守る立場として、プライベートでも不要不急な外出はせずシフト通り勤務することを常に意識してきました。感染リスクが少しずつ身近に感じられるものとなり、一緒に働く職員へも、現場を守り通す

アリュアール宝生園
 生活支援課
 課長 柏倉久美子

高年齢者の生活を守る立場として、プライベートでも不要不急な外出はせずシフト通り勤務することを常に意識してきました。感染リスクが少しずつ身近に感じられるものとなり、一緒に働く職員へも、現場を守り通す

ほのぼの宝生園
 主任 鈴木江里子

他県での感染状況から、ご利用者の手指の清潔保持やバイタルの確認、食欲など日常生活の変化に細心

サービス提供を続けております。スタッフの出勤前の検温はもちろん、ご利用者には自宅での検温をお願いし、事業所内では1テーブルに利用者2名までとしたり、こまめに換気をしたり、手洗いやアルコールによる手指消毒の適切なやり方を看護師から伝えていただいたりといった対策をとりながら、今後もコロナに負けずにご利用者にサービスを提供していきます。

宝木村屋生活支援課
 リーダー 佐藤和弘

一番に心掛けたことは、自分が感染者にならないこと。ご利用者を安全にしつ

多数のユニットをまたいで業務、入退院対応、職員、多数の方と接触をします。自分が媒介者にならないように常に注意を払って仕事をしています。

去る5月15日、まちなか宝生園が日頃よりお世話になっている地域の皆様へ、手作りマスクの贈呈が行われた。繰り返し使用できる布製のマスクで、柄も様々

去る5月27日、高級食パンで有名な「銀座に志かわ 福島卸町店」より、介護の最前線で頑張っている職員の皆様へ「感謝の気持ち」を込めて「水にこだわった高級食パン10斤」のご寄付をいただきました。当日は店長の渡辺あゆみ様が法人本部を訪れ「現場の皆様のお陰で高齢者の皆様は安心して暮らせています。気は抜けないと思いますが、美味しいパンを食べて頂き、少しでも気持ちをお和らげて頂ければと思います。」とのメッセージをいただきました。

去る5月31日まちなか宝生園・こころホールにおいて、第14回理事会が開催された。本会では、令和2年度の「事業計画(案)」ならびに「当初予算(案)」など、新年度の出発に向けた諸案が上程された。加藤理事長より「歴史上類稀なるコロナ禍の中にあつて予断を許さない状況であるが、全職員が一丸となって、ご利用者の健康と生命を守り抜いてまいりたい。」との挨拶があ

感染リスクがありますので、同居する家族等にも協力をいただきました。今、できることを精一杯行い、ご利用者、ご家族に安心して木村屋をご利用いただけるよう、これからも安心・安全を取り組んでいきます。

写真付きのお手紙を郵送させていただきます。ご利用者にも声掛け多く対応いただける日常が変わらないように支援させていただきます。施設に携わるご家族・職員・委託業者の方々、地域の皆さんにご協力いただき、全ては、「ご利用者を守る」ために一つとなれたことに感謝したいと思えます。

去る5月27日、高級食パンで有名な「銀座に志かわ 福島卸町店」より、介護の最前線で頑張っている職員の皆様へ「感謝の気持ち」を込めて「水にこだわった高級食パン10斤」のご寄付をいただきました。当日は店長の渡辺あゆみ様が法人本部を訪れ「現場の皆様のお陰で高齢者の皆様は安心して暮らせています。気は抜けないと思いますが、美味しいパンを食べて頂き、少しでも気持ちをお和らげて頂ければと思います。」とのメッセージをいただきました。

去る5月31日まちなか宝生園・こころホールにおいて、第14回理事会が開催された。本会では、令和2年度の「事業計画(案)」ならびに「当初予算(案)」など、新年度の出発に向けた諸案が上程された。加藤理事長より「歴史上類稀なるコロナ禍の中にあつて予断を許さない状況であるが、全職員が一丸となって、ご利用者の健康と生命を守り抜いてまいりたい。」との挨拶があ

本年6月9日時点における新型コロナウイルス感染者数は全世界で約700万人。その内の死者数が約40万人とされている。欧米諸国では死者数の50%が「高齢者」であり、特に介護施設内における死者数が顕著であるとの報告がある。一方日本国内における介護施設での死者数はというと「14%」に留まっております。この数値そのものが高いか低いかの議論はあるが、欧米諸国と比較して極めて低水準に抑えられていることは確かである。▼専門家によると「国内の介護施設では、インフルエンザやノロという代表的なウイルスに対して、従前より高い水準での感染予防対策が講じられており、これら常日頃の意識と行動、そして環境形成が功を奏したのではないかと分析している。▼我が国が誇る医療と介護を支える皆保険制度は「日本の文化」そのものが、この類稀なる有事にあつて、危機を回避する礎となつたこととは言うまでもないだろう。▼困難を乗り越えることを意味する「レジリエンス」という言葉がある。予測不可能かつ我々の生活そのものを脅かす事象が頻発する今の時代にあつて、これが恐らくは今後の世界標準の「パワーワード」になるであろう。

「厚志御礼」
 遠藤留美子様
 佐久間郁子様
 久保寺孝幸様
 この度はご寄付を賜り誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。

多宝会のロゴマークは漢字の心の文字をデザインしました。人としての振る舞いは心の働きによることから、その在り方こそが大切であると考えています。黄は奉仕、青は信頼、赤は勇気を表しています。

施設の話題をいち早くお届けする

多宝会 HOTLINE

多宝会の基本理念は「日々に心・日々に信・日々に新」を掲げています。誠実な心と行動によって信頼が築かれ安心の日々をお過ごしいただけると考えています。スタッフ一同、明るく、優しく、朗らかに、一日一日を大切に、人と地域を元気にしたいと思っています。

ひな祭り企画

ひな祭り企画で「桃の花作り」を行いました。お花紙で折った桃の花が2階食堂に咲き乱れました。作成後、甘酒とひなあられを召し上がり、桃の節句を楽しみました。「外出できないけれど、気分が晴れやかになる」とおっしゃっていました。共同作業をすることで、皆さんの絆も深まったように感じました。



カーネーション作り

土湯宝生園

赤や桃色等の花紙から好きな色を選んでいただき、カーネーションを作りました。作り方を職員に聞いたり、ご利用者同士で教え合ったりして、楽しそうに作っていました。出来上がったカーネーションは、玄関や寝室に飾るんだと話していました。



まちなか宝生園

お花見会

今年は「お花見外出」は中止となりましたので、室内で「お花見会」を企画しました。高さ2mの桜の大木をご利用者に内緒で作りました。披露した時は、皆さん驚き、大喜びでした。その後、「桜餅作り」を行い、出来立ての桜餅ちを食べながらお花見会を行いました。



お茶会開催

春のお茶会を行いました。桜の装飾や桃の花をホールに飾り外の雰囲気を出し、抹茶と和菓子を用意しました。「綺麗だから食べるのがもったいないね」と声が聞こえましたが、皆さん美味しくいただきました。



母の日行事

アリヴァーレほのぼの宝生園

毎年恒例の花束を持って、写真撮影をしました。始めは恥ずかしがりですが、いざ撮影すると皆さん笑顔でした。その後、おやつをいただき、歌を楽しみました。歌本1冊全て歌い、笑顔が絶えない母の日でした。



クラブ活動

「書道クラブ」では、真剣に取り組み、昔を思い出して「筆で書く感じが気持ちいいよ」と良い表情で取り組んでいました。「パステルアートクラブ」では、紫陽花に指と綿棒で色付けをしました。実際に花を見ながら描き上げ、素晴らしい作品ができました。



地域包括支援センター 詐欺にご注意！！

権利擁護業務の一環として詐欺被害防止をする取り組みを実施しております。今回は、特定金額給付金やコロナウイルス感染症に便乗した詐欺被害を防止するために、チラシを作成し、地域の方へ注意喚起を実施しています。



つるし雛

今年も職員のおばあ様から、手作りのつるし雛が届きました。今年は去年の倍の数です！様々な想いが込められた作品をみんなで眺めながらお茶を楽しみました。手先が器用でとっても羨ましいです。本当に、いつもありがとうございます。



ある日の昼食

宝寿木村屋

「今日は何の日だい？」と聞かれるくらい豪華なお弁当。どのおかずから食べようか悩んでしまい、なかなか箸がすすみませんでした。笑顔になりながら、喜んで食べていただけた姿を見ただけで、職員は大満足でした。



新型コロナウイルスに対する法人独自の取り組み

今般の新型コロナウイルスに対しては、マスクの着用や手洗い消毒の徹底、ご家族の皆様にご協力を賜りながらの面会制限等、これまで取り組んできた感染予防対策を今一重の強化を加えて対応してきたが、可及的速やかに「最高経営会議」を開催し、これらの基本的な対策以外にも「職員とご利用者を守る緊急特別施策」を講じてきたので一部をご紹介します。

職員の支援事業

当法人は、国が臨時支援策として施行した「雇用調整助成金」の対象として様々な要件の不一致から該当せず、恩恵を受けることができない状況であったが、職員に発熱や風邪症状などがある時は、14日程度休業して頂くこととし、その休業期間の補償として、パート職員も含む全職員に対し「平均賃金の100分の100」を独自に手当てすることを決定した。

子育て支援

職員のお子様が発熱や新型コロナの影響で休校を余儀なくされ、子育て対応のために休業せざるを得ない場合にも、対象となる期間すべてに「特別有給休暇」を付与する決定をした。

地域の皆様へ布マスク贈呈

マスクが不足していた状況の中で、少しでも枚数を確保しようと、職員の発案により「手作りマスク」の作成が始まった。その際に「施設のみならず、地域の皆様も困っているはず。可能な限り地域の分も作成しよう」と決め、町内の皆様へマスクの寄付を行った。

その他

消毒液等の様々な衛生用品が不足する中、これまで培ってきたご縁により、限られた衛生用品が納入される度に、多種多様な業者をはじめとする皆様より迅速な情報がもたらされ、万全な体制で感染予防に努めることができた。

感謝の気持ちをケーキに込めて

去る6月11日、当法人に食事を提供している「エムサービス(株)」様と「味の素冷凍食品(株)」様との協力で、日々感染防止に尽力している当法人の職員に感謝の意をこめて、少しでも現場職員の体力・気力の回復に貢献できたいと、「チョコレートケーキ」54個を贈りました。

もともとインキャじゃない私にとってステイホームは地獄だったけど色々ゆつくり思索ができて得たものも大きかったわ。合言葉「アイスダンス」でも心は「アプローチ」!

各種ご相談は各施設までお気軽にどうぞ、見学等も随時お受けしております。

| | | | |
|-----------|--------------|------------------|---|
| 土湯宝生園 | 024-594-5900 | 西部地域包括支援センター | 024-594-5800 |
| アリヴァーレ宝生園 | 024-594-0061 | 土湯宝生園指定居宅介護支援事業所 | 024-594-5902 |
| ほのぼの宝生園 | 024-594-0063 | 湯ったりデイサービス | 024-594-5900 |
| まちなか宝生園 | 024-521-1122 | 法人本部事務局 | 024-522-6611 |
| 宝寿木村屋 | 024-594-5122 | URL | http://www.tahokai.jp |